

平成 29 年度関東森林管理局保護林管理委員会保護林モニタリング調査検討部会
議事概要

平成 30 年 1 月 30 日（月）13：00～16：00

関東森林管理局 5 階中会議室

今年度の保護林モニタリング調査の結果について、議論を行うとともに、平成 29 年 3 月に作成されたモニタリング調査マニュアルに基づいた、新たなモニタリング調査のあり方について御意見をうかがいました。

（委員からの主な意見）

- ・ 定波シラカンバ植物群落保護林について、シラカンバの推移を見るのか、またはシラカンバを維持することを意識するかで、現在の調査プロットの継続か移設を考えるべき。
- ・ シカによる食害への対策は、単木の保護を前提としながらも、生態系の保全の観点から、どのようなモニタリングや保護を行っていく必要があるのか検討すべき。
- ・ 通行止めなどで、到達が困難な調査プロットについては、代替措置を考えるなども必要である。
- ・ 緑の回廊のモニタリング調査については、モニタリング調査の目標を整理すべき。